

公表		事業所における自己評価総括表			
○事業所名	社会福祉法人 至泉会すこやか園児童発達支援事業				
○保護者評価実施期間	R6年 12月 2日		～	R6年 12月 20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61名	(回答者数)	42名	
○従業者評価実施期間	R6年 11月 25日		～	R6年 12月 6日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 27日				

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもが利用を楽しみにしてくれている。	・一人ひとりの状態に合わせた丁寧な支援していること。	・お子さんに必要な支援を保護者と共有しながら、進めていく
2	・保護者がわが子の相談をしやすい。	・保護者の方とお会いしたときのコミュニケーションを大切にしている。 ・面談の機会と適宜設けている。 ・必要なときに電話でやりとりをしている。	・現在の取り組みを継続していく。 ・保護者からのニーズにアンテナ張りながら、タイムリーに話をする機会を設ける。
3	・保護者がわが子の様子について理解することに繋がる。	・マジックミラーから、療育の様子を見ていただく機会を設けている。	・マジックミラーから様子を見る取り組みを継続していく。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育以外の園の取り組みの周知がされにくい。(マニュアル等)	・契約時には伝えているが、利用していただいてから、改めて伝える機会が少ないのかもしれない。(送迎を利用された居るお子さんの保護者は、来園される機会が少ないこともある。)	・現状に比して、発信する機会を作っていない。(月の予定に記載する)
2	・保護者が連携する機会が少ない。	・園の特性(週1回の利用児が多い)から、保護者が集まる機会が少ない。	・現在も実施しているが、保護者向け講演会や懇談会等の機会を有効に使えるように工夫する。